

# 令和元年入込観光客総評

令和2年6月 箱根町企画観光部観光課

令和元年の入込観光客は、5月の大涌谷の噴火警戒レベルの引き上げや、10月に上陸し、当町に甚大な被害をもたらした台風第19号による影響を大きく受けたため、大涌谷周辺の火山活動活発化が大きく響いた平成27年ほどの落ち込みはみられなかったものの、平成28年以来、3年ぶりに2千万人を切る、厳しいものとなった。

入込観光客数は18,960千人（前年比89.2% 2,300千人の減）と前年に比べ10%以上減少した。その内訳は、宿泊客が4,297千人（前年比94.9% 229千人の減）、日帰り客が14,663千人（前年比87.6% 2,071千人の減）であり、日帰り客の減少が顕著であった。

## 1 宿泊客について

施設形態別に見ると、寮・保養所が546千人（前年比100.3% 2千人の増）、その他の施設（民宿・国民宿舎・ユースホステル等、ペンション、キャンプ場・コテージ）は、59千人（前年比108.4% 5千人の増）となり、夏に宿泊のピークを迎える施設形態ではわずかに増加した一方で、例年多くの方が宿泊する10・11月に、台風の影響により苦戦を強いられた旅館・ホテルでは、3,692千人（前年比94.0% 236千人の減）と減少した。

一般客は、3,686千人（前年比94.7% 206千人の減）、外国人観光客は576千人（前年比96.7% 20千人の減）、修学旅行客は35千人（前年比91.5% 3千人の減）であり、全て前年を下回る結果となった。

月別では、5月までは前年を上回り、好調に推移していたが、6月以降は一転して12月までの全ての月で前年を下回っている。これは、5月19日に大涌谷の噴火警戒レベルが2に引き上げられたことや、10月12日に上陸した台風19号の影響が色濃く出たものと推察される。

また、ここ数年順調な伸びを見せていた外国人観光客についても、政情不安により韓国人観光客が減少したことに加え、台風豪雨による被害状況が海外メディアで報道されたことやSNS等で拡散されたこともあり、東日本大震災の影響により落ち込んだ平成23年以来8年ぶりに減少する結果となった。

## 2 日帰り客について

日帰り客については、改元に伴うこれまでに無い長期のゴールデンウィークがあったことなどにも後押しされ、5月までは前年を上回る観光客数で順調に推移していた。しかしながら、6月以降は大涌谷の噴火警戒レベルの引き上げによる、大涌谷園地の立ち入り規制や箱根ロープウェイの運休による影響を受けたことにより減少に転じた。また、10月の台風19号では町内各地で土砂崩れが発生し、国道1号、国道138号の通行止めや箱根登山鉄道の橋梁流出など、町内交通網が崩壊したほか、宿泊施設への雨水の流入等町内各所でこれまでに経験したことのない被害が発生した。これらのことに加えて、箱根観光の来訪者層である首都圏が被災地となった影響もあり、観光客数が大きく減少することとなった。

## 3 月別入込み状況について

1月は積雪など交通に影響する大きな天候の崩れは無く、箱根神社への初詣や、東京箱根間往復大学駅伝の応援で賑わいが見られた。2月は箱根ロープウェイの早雲山～大涌谷間がメンテナンスにより運休となったため、週末は渋滞が見られる箇所もあった。外国人観光客についても、特に春節による中華圏からの観光客も含め、好調に推移した。3月は、卒業旅行と思われる学生グループが多く見られ、交通渋滞も発生するなど、特に日帰り観光客で賑わいが見られた。4月は、1日に新元号『令和』が発表され、民間事業者による改元記念イベントが賑わいを見せた。また、改元に伴い、新天皇即位日（5月1日）が休日とされ、4月下旬から10連休という今までに無い長期のゴールデンウィークとなったこともあり、国内観光客数は大きく増加したとともに、外国人観光客についても、イースター休暇を利用した欧州圏の観光客が多く見られた。5月のゴールデンウィーク後半は、前半と比べ天候も回復したことや、長期休暇による旅行意欲の高まりも相まってさらに賑わいが見られた。一方、外国人観光客は、東アジア圏の情勢不安や日本国内の長期休暇の混雑等を敬遠したからか、寂しい状況であったとの声が聞かれた。19日には大涌谷の噴火警戒レベルが2に引き上げられたため、大涌谷周辺が立ち入り規制となり園地も閉鎖され、箱根ロープウェイも全線運休となったことが、その後の観光客数に影響を与えることとなった。6月から7月にかけては、ゴールデンウィークの反動減に加え、梅雨による天候不順も重なった。梅雨は6月上旬からおよそひと月半続き、梅雨明けが史上最速であった昨年より1か月近く遅い7月下旬となったことも影響し、観光客数が前年と比べ減少に転じた。8月は、多くの入込が期待される夏休みの時期ではあるが、前述の状況から大涌谷園地に立ち入れず、当町観光の中心である箱根ゴールデンコースが寸断されていたことの影響は大きい。また、この頃から、10月の消費税増税を控え、大型家電などの耐久消費財の購買意欲が高まった一方で、観光レジャー等の消費活動が低迷したことから、特に国内観光客数は伸び悩んだ。9月はラグビーワールドカップ2019の開幕により、町内各所で出場国のユニフォーム姿の外国人

観光客で賑わいが見られた。特に、総合観光案内所では、イギリスやアイルランドからの問い合わせが目立って増加した。10月は、7日に大涌谷の噴火警戒レベル引き下げの発表があり、近日中の大涌谷園地再開が期待され、秋の行楽シーズンに向けて明るい話題になると思われた。しかしながら、12日に上陸した台風19号の影響により日本各地で被害が発生し、当町においても降り始めからの総雨量が1,000mmを超え、観測史上最多を記録した。土砂崩れなどにより、箱根登山鉄道では橋脚や軌道敷が流出したことから長期間の運休を余儀なくされ、道路では国道1号や138号で通行止めとなるなど、交通基盤が大きく崩れ、これまでに経験したことのない被害に見舞われ、観光客数は大幅に減少した。11月は、例年であれば仙石原すすき草原や紅葉を目当てに多くの観光客で賑わいが見られるところであるが、台風19号の影響が色濃く残っている状況に加え、箱根の主な来訪者層である首都圏も大きな被害を受けたことにより、これまでにない寂しい状況となった。しかし、そのような中であっても、開催が危ぶまれた大名行列は予定通り実施され、沿道の観覧客数も昨年と同程度の8万人と多くのお客様にお楽しみいただくことができた。また、15日には台風被害により延期されていた大涌谷園地が再開し、直後の休日には、駐車場待ちに渋滞が発生するなど、復興に向けて明るい兆しが見え始めた。12月は、依然交通インフラが万全でないことに加え、箱根登山ケーブルカーの車両更新に伴う運休が重なったことから、例年以上に閑散とした状況であった。一方、27日には国道138号の通行止めが解除され、翌日には路線バスも仙石原方面への直通運転が再開されたことで、年末の旅行シーズンには、学生グループなど、冬休みを楽しむ旅行者で賑わいが見られた。

なお、令和元年に最大の入込みがあったのは3月であり、次いでこれまでにない長期休暇期間のあった4月、5月であった。近年は、仙石原すすき草原や紅葉を目当てに多くの観光客で賑わいが見られる11月が最大の入込み月となる傾向であったが、台風19号の影響を大きく受け、大幅に減少した。

#### 4 まとめ

令和元年は、1月から5月まではいずれの月の観光客数も前年を上回り、好調に推移した。しかしながら、6月以降は大涌谷噴火警戒レベルの引き上げ、10月の台風19号による被災など立て続けのマイナス要因により、観光客総数としては前年を10.8%下回り、改めて自然の脅威を感じる1年となった。

#### 5 その他（令和2年の見通し）

令和2年は、新型コロナウイルスの影響により、訪日外国人観光客の移動のみならず、国内も移動の自粛が求められていることから、入込観光客数はもとより、

町内経済の見通しについても、かつてないほどの落ち込みとなってしまうのではと危惧している。

町では、一刻も早い町内経済の回復を最優先とし、効果的な経済対策の実施に努めていくとともに、誘客についても新しい生活様式を踏まえた新型コロナウイルス対策を万全にし、多くの観光客の皆様が安心して来訪できる観光地を目指していきたい。

# 令和元年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	285,847	292,304	391,070	349,343	309,232	261,175	291,106	402,582	304,271	236,869	280,394	288,159	3,692,352	94.0%
(内数:一般客)	248,147	243,491	336,000	265,266	257,449	218,528	240,420	354,241	261,105	183,553	231,957	250,900	3,091,057	93.5%
(内数:外国人客)	37,575	48,273	54,016	77,368	46,842	40,854	48,891	42,681	40,803	47,998	45,310	36,579	567,190	96.9%
(内数:修学旅行者)	125	540	1,054	6,709	4,941	1,793	1,795	5,660	2,363	5,318	3,127	680	34,105	91.6%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	1,241	1,206	1,820	1,858	1,550	1,197	1,336	2,396	1,669	1,152	1,182	1,112	17,719	74.3%
(内数:外国人客)	396	388	773	975	701	529	729	1,021	652	811	629	423	8,027	82.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ペンション	295	237	355	365	238	164	173	396	167	101	169	183	2,843	162.1%
(内数:外国人客)	15	20	34	66	8	14	16	25	8	16	18	16	256	25600.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	1,165	899	2,777	2,860	4,317	2,253	3,816	8,978	4,065	2,123	2,864	2,018	38,135	133.5%
(内数:外国人客)	36	16	51	70	93	49	80	71	88	64	51	41	710	84.4%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	260	275	0	0	0	0	0	0	0	535	84.9%
寮・保養所	42,262	32,861	55,860	52,605	49,406	41,031	46,447	75,203	41,283	25,822	41,483	41,415	545,678	100.3%
宿泊客計	330,810	327,507	451,882	407,031	364,743	305,820	342,878	489,555	351,455	266,067	326,092	332,887	4,296,727	94.9%
(内数:外国人客)	38,022	48,697	54,874	78,479	47,644	41,446	49,716	43,798	41,551	48,889	46,008	37,059	576,183	96.7%
(内数:修学旅行者)	125	540	1,054	6,969	5,216	1,793	1,795	5,660	2,363	5,318	3,127	680	34,640	91.5%
日帰客	982,439	1,143,735	1,759,592	1,803,582	1,818,245	1,422,337	967,776	1,451,664	953,112	733,163	938,449	689,179	14,663,273	87.6%
観光客総数	1,313,249	1,471,242	2,211,474	2,210,613	2,182,988	1,728,157	1,310,654	1,941,219	1,304,567	999,230	1,264,541	1,022,066	18,960,000	89.2%

## 過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成21年	4,525,157
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H21年比	対前年増減比(人)
H22	4,646,053	102.7%	102.7%	120,896
H23	4,280,639	92.1%	94.6%	△ 365,414
H24	4,631,951	108.2%	102.4%	351,312
H25	4,716,936	101.8%	104.2%	84,985
H26	4,606,751	97.7%	101.8%	△ 110,185
H27	3,665,231	79.6%	81.0%	△ 941,520
H28	4,338,824	118.4%	95.9%	673,593
H29	4,693,513	108.2%	103.7%	354,689
H30	4,525,879	96.4%	100.0%	△ 167,634
R1	4,296,727	94.9%	95.0%	△ 229,152

(2) 日帰客数			平成21年	15,123,843
年	日帰客数(人)	対前年比	対H21年比	対前年増減比(人)
H22	15,389,947	101.8%	101.8%	266,104
H23	13,390,361	87.0%	88.5%	△ 1,999,586
H24	14,806,049	110.6%	97.9%	1,415,688
H25	16,140,064	109.0%	106.7%	1,334,015
H26	16,583,249	102.7%	109.6%	443,185
H27	13,710,769	82.7%	90.7%	△ 2,872,480
H28	15,226,176	111.1%	100.7%	1,515,407
H29	16,826,487	110.5%	111.3%	1,600,311
H30	16,734,121	99.5%	110.6%	△ 92,366
R1	14,663,273	87.6%	97.0%	△ 2,070,848

(3) 観光客総数			平成21年	19,649,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H21年比	対前年増減比(人)
H22	20,036,000	102.0%	102.0%	387,000
H23	17,671,000	88.2%	89.9%	△ 2,365,000
H24	19,438,000	110.0%	98.9%	1,767,000
H25	20,857,000	107.3%	106.1%	1,419,000
H26	21,190,000	101.6%	107.8%	333,000
H27	17,376,000	82.0%	88.4%	△ 3,814,000
H28	19,565,000	112.6%	99.6%	2,189,000
H29	21,520,000	110.0%	109.5%	1,955,000
H30	21,260,000	98.8%	108.2%	△ 260,000
R1	18,960,000	89.2%	96.5%	△ 2,300,000